

## 令和5年度第1回一関市再犯防止推進計画策定委員会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第1回一関市再犯防止推進計画策定委員会
- 2 開催日時 令和5年11月2日（木）午後2時から午後3時まで
- 3 開催場所 一関保健センター 栄養指導室
- 4 出席者
  - (1) 委員 松本邦典委員、石山敬大委員、山本亮委員、藪内秀樹委員、  
吉田直樹委員、宍戸久夫委員、小野寺幸子委員、小野寺孝喜委員、  
岩本孝彦委員、佐々木裕子委員、田中敏彦委員、小岩明美委員、  
岩館幸司委員  
※欠席者 伊藤佳代委員、橋本信子委員、須田光宏委員
  - (2) 事務局 佐藤和幸長福祉部次長兼寿社会課長、  
伊藤歩長寿社会課長補佐兼福祉企画係長、高橋真一郎長寿社会課主任主事
- 5 議題
  - (1) 一関市再犯防止推進計画策定委員会の設置について
  - (2) 一関市再犯防止推進計画の策定について
  - (3) 今後の策定の進め方について
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0人
- 8 佐藤和幸長福祉部次長兼寿社会課長挨拶

第1回一関市再犯防止推進計画策定委員会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、ご多用にもかかわらず委員を快くお引き受けいただき、本日の第1回委員会にご出席を賜りましたことに、心から御礼を申し上げます。また、日頃より本市の福祉行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに対し、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、再犯防止推進計画につきましては、平成28年12月に成立、施行された再犯の防止等の推進に関する法律において、再犯の防止等に関する施策を実施する責務が、国だけでなく地方公共団体にもあることが明記されるとともに、都道府県及び市町村に対して国の再犯防止推進計画を勘案し、地方再犯防止推進計画を策定する努力義務（第8条第1項）が課されました。

再犯の防止等の推進に関する法律第3条の基本理念には、罪を犯した者等が、多様化が進む社会において孤立することなく、再び地域社会の一員として受け入れられるよう

な社会の実現が求められております。

当市におきましては、これまでも「社会を明るくする運動」等の機会をとおして、犯罪の防止や罪を犯した人、非行をした人の再犯防止について広報・啓発を行ってまいりました。

本計画の策定においては、罪を犯した者等を取りまく背景や傾向の分析等を行い、庁内の関係課で情報共有をし、一関地区保護司会をはじめとする関係機関・団体の皆様から、今後取り組むべき方向についてアドバイスをいただきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げますとともに、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。開会に当たってのあいさつといたします。

## 9 審議内容

### (1) 委員長選出および委員長職務代理者指名

事務局から委員長の選出について諮ったところ、宍戸久夫委員を推薦する発言があり、委員から異議はなく承認された。その後、委員長席に移動し就任の挨拶を述べた。

また、委員長不在時の職務代理者については、委員長の指名により岩本孝彦委員に決定した。

### (2) 一関市再犯防止推進計画策定委員会の設置について

事務局から資料に基づき説明を行った。質疑等なし。

### (3) 一関市再犯防止推進計画の策定について

事務局から資料に基づき説明を行った。質疑等なし。

### (4) 今後の策定の進め方について

事務局から資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 県内他市町村の計画策定状況について補足する。現在県内では、盛岡市、久慈市、北上市、花巻市、大船渡市、滝沢市、岩手町、洋野町、普代村、九戸村の10市町村が再犯防止計画を策定済みである。そのほか、一関市を含めて8市町村が今年度策定予定となっている。

委員 再犯防止推進計画と盛岡少年刑務所の関わりの一例として、盛岡市の例を紹介する。今年の9月に盛岡矯正展という催しを開催した。刑務作業で作られた製品を販売するほかテレビタレントを呼ぶなど、イベントを楽しんでもらった後に刑務所の見学や活動展示などを行うが、今年は盛岡市も参加しブックエナジーという事業の紹介などを行った。また11月に盛岡市役所の一角を借りて、少年刑務所で制作した刑務作業品の即売会を行う予定である。このように、再犯防止推進計画の策定にあたっては、各市町村とのコラボなども実施していければと思うので、

ぜひお声がけをいただきたい。

委員 少年院では収容者を退院させる際、必ず引受人がおり帰る場所を確保した状態で退院させることとなっているが、中には引受人になってくれる家族がいない方もいる。そういった方には、住み込みでの就労を受け入れてくれる雇用主が引受人になったり、障がいを持つ者には福祉施設で受け入れてもらうなど、地域の協力をいただきながら再犯防止に努めている。計画の策定の際には、改めて皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

委員 鑑別所の主な業務は、収容された少年がどのような子なのかを見極める鑑別業務というものだが、鑑別所に収容される人数は年々減少している。一方で、地域援助業務というものがあり、地域の犯罪防止のため職員が各所に出向いたり、相談に来た方にアドバイスをしたりというものだが、こちらの件数は増加傾向である。再犯防止推進計画の中でも、学校で問題児童に関して先生方にアドバイスをしたり、収容施設出所者が福祉施設や事業所で問題行動を起こすといった困りごとの相談に乗っている。地域援助業務の一環として、教育機関や福祉施設などの困りごとの相談先として、少年鑑別所を位置付けてもらうことができるのではないかな。

委員 警察署は取締機関であることから、普段再犯防止には目が行き届いていないところだが、改めて資料を見ると再犯率の高さや無職者の割合の高さに気付かされた。警察としても取締りの際には再犯防止の指導などは行っているところだが、改めて目先を変えて再犯防止の推進についても意識していきたいと思う。

委員 ハローワークでは、刑務所出所者などの刑余者の就労相談を受ける件数はそれほど多くはないのが現状であるが、そういった方についても、次の就職に向けて支援やサポートを続けていきたいと思う。

委員 保健所では薬物乱用防止を取り扱っているが、薬物乱用は再犯率が非常に高く、7割から8割程度が再犯者となっている。また近年の動向としては、大麻の乱用や若年層の乱用が問題となっているところだが、薬物事犯については再犯のみならず、初犯のところで防止するという観点も重要となってくる。そういったところも踏まえ、再犯防止推進計画の中でも薬物乱用防止の啓発を盛り込み、保健所とも協力して進めていただければと思う。

会長 次回委員会の際は、計画案などの会議資料を事前にいただけるのか。

事務局 資料を事前配布させていただくので、委員会の日までに内容に目を通していただき、意見などまとめていただければと思う。

委員 再犯防止の取組に先立ち、前提として再犯率の高さや再犯者にどのような人が

いるのか、高齢者、障がい者がどのように関わっているのかなど庁内外で認知されていないのではないかと思います。それによって関係各課の対応も変わってくるのではないかと。何も無いところからだとイメージがしづらいので、前段としてそういった情報の共有が必要ではないかと思う。盛岡市の事例では、計画策定に先立ちモデル事業の実施などの段階を踏んでいるが、一関市においてはどうか。そういった時間をかけてやっていった方がよい計画になっていくのではないかと。

事務局 一関市においては、盛岡市のようなモデル事業の実施はしておらず、今回計画から策定となるが、多くの行政領域にまたがる施策であるため庁内で整合性を持って総合的に推進していくには、計画の策定は重要な手法と考えている。この計画を策定することで、庁内の様々な事業の中に再犯防止推進の視点を取り入れることができるのではないかと。委員のおっしゃった視点は非常に重要と思うので、そういった形で計画策定を進めていければと考えている。

委員 今回の委員会は集合形式での開催となったが、今後オンライン開催の予定はあるか。

事務局 検討させていただく。その際は、集まれる方には集まっていただき、遠方の方等にはオンラインで出席していただき、ハイブリッド開催になると思う。

10 その他 事務局から、以下の点についてお知らせした。

今回の会議後にも意見を出していただけるよう、ご意見シートを配布している。会議の中で言えなかったことや会議後に気になったことなど、FAXでも郵送でもEメールでもよいので提出いただきたい。

11 担当課 福祉部長寿社会課